



2025 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社アイドママーケティングコミュニケーション
代表者名 代 表 取 締 役 蛭 谷 貴
(コード番号：9466 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務 経営管理部長 中 川 強
(TEL. 076-439-7880)

上場維持基準への適合に関するお知らせ

当社は、2024年6月14日に「上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

この度、東京証券取引所から、「上場維持基準（分布基準）への適合状況について」を受領し、下記のとおり、2025年3月末時点において、すべての上場維持基準に適合しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況

当社は、2024 年 3 月 31 日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」の基準を充たしておりませんでした。計画書に基づき各種の取組みを進めてきた結果、2025 年 3 月 31 日時点において当該基準を充たしていることを確認し、上場維持基準のすべての項目に適合いたしました。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の 適合状況及び その推移	2024 年 3 月 31 日時点	3,492 人	42,416 単位	9.9 億円	31.37%
	2025 年 3 月 31 日時点	4,360 人	48,910 単位	12.5 億円	36.17%
上場維持基準		400 人	2,000 単位	10.0 億円	25%
適合状況		適合	適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、上記の上場維持基準達成のため、2024 年 6 月 14 日に公表いたしました適合計画書において、上場維持基準適合に向けた基本方針を、持続的な成長と企業価値（当期純利益）を向上させることで、流通株式時価総額の増加を図ることと定めておりました。

業績を好転させる取組として、①企業価値の向上、新型コロナウイルスや、ウクライナ情勢等により原料費や物流費、人件費等が上昇したことで、流通小売業の販売促進活動が停滞したことを契機に、従来の販売促進手法からリテールメディアへの関心の高まり等へのニーズに対応した「オールメディアプロモーション」（デジタルサイネージ・電子棚札・SNS・生成AIの活用や、これらを組み合わせた、電子棚札とデジタルサイネージ、SNSとデジタルサイネージの連携、AIを活用したデジタルサイネージ運用等で、本格的なダイナミックプライシングや、新しい購買喚起ソリューションの実現を図り、流通小売業の「売り場」の省人化と省力化にも対応する新しい販売促進活動のご提案）を軸に営業開発活動を強化して、既存クライアントに加え、新規クライアントの開拓に注力した結果、2025年2月14日開示の「2025年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、一定の成果を獲得することが出来ました。

また、配当政策をより魅力あるものとするため、②株主還元の施策について、上記の結果として、業績予想を上回る見込みとなったため、2025年3月期の期末配当について、2025年2月14日開示の「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」のとおり更なる積極的な還元を行うべく、1株につき10円00銭といたしました。これにより、中間配当金（1株につき5円00銭）を含めました年間配当金は、1株につき15円となりました。（この期末配当は2025年6月26日開催予定の定時株主総会の決議を条件といたします。）

さらに、これら取組のアピールのための③IR活動の強化として、証券取引所開示や当社Webサイト掲載事項の内容充実・補足説明資料の積極的なご提供に加え、当社グループの事業内容や魅力についてのより深い理解のため、証券会社を通じた個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。今後も株主・投資家の皆様との良好な関係を構築し、建設的な対話の推進に努めてまいります。

当社は今後も、「人の心の美しさを商いに生かした一筋にお客様の繁栄を願い豊かにすることを我社のよこびとして日々の仕事に精進いたします」という創業理念のもと、販売促進支援サービスを通じ、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以 上